

スリーピース



立山町立立山北部小学校
3年 学年だより
第4号 R8. 9月

日中はまだ暑い日が続きますが、朝夕は少しずつ涼しい風が吹き始め、秋の訪れを知らせています。先日は、お忙しい中、学習参観に多数ご参加下さりありがとうございました。

2学期がスタートして、1か月が経ちました。社会科見学や運動会練習が始まっています。一つ一つの活動を通して、頑張っている姿を見付け、成長を見守っていきたいと思います。

～社会科の見学を通して～

社会科「店ではたらく人」の学習で、アルビス立山店の見学に行きました。普段、家族と一緒に買い物に行く身近なスーパーマーケットですが、商品の数や陳列の工夫等、知らなかったことがたくさんあり、子供たちは驚いている様子でした。また、特別にバックヤードも見せていただき、スーパーマーケットの秘密をたくさん学ぶことができました。

クラスで学んだことを伝え合おうと、グループで新聞を作成しました。グループで新聞を作るのは初めてなので、まずは役割分担から決めようとしたのですが、なかなか決まらず時間がかかりました。しかし、自分の書きたい内容が決まると、見付けた工夫を伝えようと一生懸命に書き、記事を仕上げました。

発表の練習では、書いた記事を全て読み上げるのではなく、コンパクトに伝えようと子供たちに伝えました。すると、自分の書いた内容を精選して発表できました。さらに、クイズを取り入れたり、写真を大きくみせたりするなど、自分たちでよりよい発表会にしようと考えて行動している姿が印象的でした。



たくさんのかんばんを見つけました。かんばんには、番号や品物の名前が書いてあり、どこに何がおいてあるかすぐに分かる工夫だと思いました。ほかにも、店いんさんが、50人もいると聞いておどろきました。

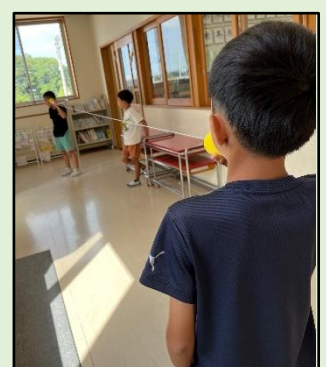
アルビス見学では、セミセルフレジというものがありました。店長さんの話などで、より早く会計するための工夫だと知り、アルビスにたくさんのおきゃくさんがくるひみつだと思います。

～体験的な理科の実験～

「音を伝え合おう」の実験を行いました。鉄棒やグレーチングをトライアングルのステックで叩き、音が伝わる様子確かめました。その後、教室で糸電話を作り学習しました。使っているときの糸にふれてみると、震えているのを感じられたようです。音と震えの関連について考えることができました。



音が伝わっているね。
遠くにはなれても、
よく聞こえる♪



～語り部さんの話を聞いて～

9月22日金曜日、5年生と一緒に戦争体験語り部の上田さんから戦時中の体験の話を伺いました。

富山大空襲の出来事やその後の生活など、実際に体験されたこと話はもちろん、防空頭巾や弁当箱、当時の教科書等の実物を見せていただきました。「戦争って怖い」「ウクライナとロシアの状況もこうなのかな」などの感想もありました。戦時中のリアルな状況が想起されるお話で、子供たちは平和な暮らしのありがたさを実感していました。



ぼくは、語り部さんの話を聞いて、せんそうはこわいなと思いました。せんそう中は食べ物がなく好きなものをすきなだけ食べることができないと知っておどろきました。

ロシアとウクライナのせんそうは苦しいことだと思います。わたしは日本人だけど、そのせんそうのことをテレビで見たり聞いたりするととても悲しい気持ちになります。どちらが負けるかわからないけれど、早くこの長いせんそうをやめてほしいです。

せんそう中は、お風呂に入ることができず、しらみに食べられてべん強ができないくらい頭がかゆくなった話を聞き、自分がそうになったらと想うとこわいし、気持ち悪いなと思いました。それでもべん強できていて、すごいなと思いました。

ばくだんからにげるために川の中にとびこみきょうふとさむさでなくなる人もいて、悲しい気持ちになりました。二どとせんそうがおきない国になってほしいです。

今の学期にちょうどよい! 自主学習のすすめ

- | | |
|----|---|
| 国語 | ・漢字を「へん」と「つくり」に分けて書き、「つくり」の意味について考える。
・身の回りにあるものや家族の名前をローマ字で書く練習をする。(タブレットでのタイピング練習) |
| 算数 | ・身の回りにある大きな数を見付ける。(10000以上の数)
・工夫して計算する。
・3桁×1桁の計算を筆算でする。 |
| 社会 | ・お店に行き、どのような工夫がされているか探す。 |



お知らせとお願い

- ★10月23日(月)、校外学習に出かけます。行先は、コストコ射水倉庫と子ども未来館の予定です。弁当の用意をお願いします。しおり等の詳しい持ち物に関しては、後日お知らせします。
- ★11月18日(土)、学習発表会が予定されています。今年度は、ステージ発表を意識した特別な発表ではなく、これまでの学習の成果を生かした教室発表が基本となります。体育や音楽の発表の場合は、体育館や音楽室での発表になる可能性もあります。